



市民と議会のつどい

議会での意思決定に関する説明責任を果たすとともに、市民との意見交換を行うため、市内8地区で年2回、「市民と議会のつどい」を開催しています。市民の皆様からいただいたご意見は、所管の常任委員会で整理・研究し、定例議会の一般質問などで取り上げるとともに、重要な案件については、大村市へ提言を行っています。



5 月10日(木)・11日(金)、市内8会場で、通算9回目の「市民と議会のつどい」を開催しました。

総数242名の市民の方にご参加いただき、平成24年度の当初予算や介護保険料の改定などについて説明を行ったほか、市政、議会について、多くのご意見・ご要望をいただきました。

ご意見・ご要望の対応結果については、次回の「市民と議会のつどい」、ホームページなどで報告してまいります。



大村湾をきれいにする湾沿岸議員連盟

大村湾沿岸の市・町議会(5市4町)に所属する議員(現146名)を会員として平成15年に発足しました。大村湾の環境保全と水産振興の適正利用を図るため、研修会や県知事要望などの活動を行っています。

6 月1日、議員連盟役員会と県環境部・水産部・土木部との合同勉強会を開催し、コンクリート護岸の自然護岸化や底質改善などについて協議を行いました。

また、7月13日には、全会員による研修会を開催し、長崎大学水産学部の梅澤准教授から、黄砂などの大気降下物が大村湾生態系に与える影響や、大村湾の海藻・海草の現状などについて説明を受けました。

